

## 交換留学（派遣）帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

**本報告書は帰国後1ヶ月以内に所属部局教務係に提出してください。**

**\*各項目のスペースが足りない場合は、適宜スペースを足して記入してください。**

*本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、E-mailは公開されません。*

氏名：

学籍番号：

e-mail：

---

留学先大学：香港中文大学

留学先での所属学部・研究科：経営学部

留学先での在籍身分：学部生

留学期間：2018年 9月－2019年 5月

神戸大学での所属学部・研究科： 経営学部

学年（出発時）：学部3年

本報告書記入日：2019年 5月 30日

### 1. 留学先大学について

#### 1-1. 留学先大学の「学期」について

学年開始月日： 9月 1日

学年終了月日： 8月 31日

学期：

① 9月 3日～ 12月 21日

② 1月 7日～ 5月 11日

③ 月 日～ 月 日

④ 月 日～ 月 日

#### 1-2. 留学先大学の特長、人気のある分野等

香港中文大学は香港の中心部から電車で1時間ほどの場所に位置しています。カレッジ制を採用しているのが大きな特徴で、崇基学院・聯合書院・新亜書院という3つのカレッジによって合同で運営されています。

歴史あるMBAコースやIT人材を多く輩出していることで有名ですが、学生間では経営学、特にマーケティングやマネジメント分野の授業が人気で、履修はしばしば抽選になります。

キャンパスは山一帯にまたがっており、休日には地元の人々がバードウォッチングを楽しむ姿も見られます。キャンパス内は5～15分間隔で無料バスが走っているため、移動も快適です。

1-3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ，成績評価，現地学生の取り組み等

授業形式は20人程度のディスカッションやグループワークを中心としたものから大教室で200人ぐらいが講義を聞く形態まで様々です。講義の使用言語は多くが英語か広東語です。経営学分野では主に英語で開講されています。

学生たちは総じて真面目です。特に学生の2割ほどを占める中国本土からの留学生は熱意があり、刺激を受けることができます。

また、講師たちは成績評価基準をシラバスで公表することが推奨されており、採点ミスがないかどうか学生が確認できる場を設けているクラスも少なくありません。

## 1-4. 履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも含めて教えてください。
1	CLCC 1113A - Application of Vocabulary and Grammar 1	CHAN Chi Leung	3	3	20	広東語文法。オンライン教材で予習・復習必須。隔週で小テスト。中間・期末ともにリーディングとライティングのテスト。
2	CLCC 1123A -Oral Skills Practice 1	CHAN Sze Mun	3	3	20	広東語会話。オンライン教材で予習・復習必須。隔週で小テスト。中間試験はプレゼンテーション、期末はリスニングおよびスピーキングテスト。
3	ECON 1210A - Economics and Society	IP Tak Sang	3	3	122	ミクロ・マクロ経済学の基礎を学ぶ。中間・期末テストあり。留学生多め（3割ほど）。
4	DSME 1030K - Economics for Business Studies 1	HUANG Wei	3	3	61	経営学を学ぶための経済学。ミクロ寄り。中間・期末テストあり。課題は全3回。
5	DSME 4020A Decision Modeling and Analytics	KIM Sang Won	3	3	47	中間・期末テストあり。課題は全4回。Excel プラグインを用いた演習がある。内容は簡単ではないが、暗記よりかはアウトプットを求められる、やりがいのある授業。
6	CLCP 1113 - Application of Voc & Gr I	HUANG Ying	3	3	19	普通語文法。オンライン教材で予習・復習必須。毎週小テスト。中間・期末ともにリーディングとライティングのテスト。希望者は簡体字の書き順を習える補講が受けられる。
7	DSME 3050 - Global Economics	CHOW Lap Kei	3	3	31	中間・期末テストあり。期末前にグループワークがあった。内容は授業に関連するテーマを各グループで調べて発表するというもの。
8	ECON 3470 - Labor Economics	YUNG Chor Wing Linda	3	3	36	中間・期末テストあり。全微分等、数学の基礎知識が必要。後半にはMATLABを用いた演習がある。履修者以上に受講者がいたことから、聴講生が多くを占めていたのだと思われる。
9	DSME 4040 - Managerial Economics	KU Kei Tat	3	3	21	中間・期末テストあり。理論も実践も学ぶ。理論を学んだ後に、EC 企業の物流センターを見学したり、クールノー・ベルトランといった理論を実験で確かめたりするアクティブな授業が行われる。
10						

## 1-5. 留学先大学のサポートについて記入してください。

語学面でのサポート：なし。大学内では基本的に英語が通じますが、一部講義や食堂での注文等、広東語が求められることがあります。特に広東語開講の授業を受講する場合は、自主的に勉強したり広東語を学べる講座を受講したりする必要があります。ただし技術的なコースであれば、広東語が不得手でもパスできます。実際、香港人のクラスメイトに通訳をお願いして、広東語開講の水墨画の単位を取得する日本人留学生もいました。

勉学面でのサポート：

TAによる補講や先生への質問のほか、留学生向けオリエンテーション期間に履修登録についてのサポートがありました。

精神面でのサポート：

CUHKには電話で悩み相談を行えるサービスがありますが、家族や現地の友人の方が話しやすかったため、利用しませんでした。

ユニークなのが、Wellness and Counselling Centreが主催しているDr. Dogです。試験期間中などでストレスが溜まりやすい折、学内にやって来た犬たちと気軽に触れ合える場が設けられます。

Morningsideでは寮生が率先して活動を行っていました。テスト期間限定で、寮内のカフェが無料の夜食を提供していたり、寮生同士のコミュニケーションを促すためのキャンペーンが行われたりしていました。

住居・生活面でのサポート：

寮のスタッフが24時間体制で寮内のオフィスに待機しています。ただ、時間外のサービスには別途料金が発生することがあるので注意です。

課外活動のサポート：私の住んでいたMorningsideでも部活・社会貢献活動などが盛んでした。学生は例えば、卓球やバスケットボール、登山やツーリングを行うレンジャークラブなどに所属することができます。

## 1-6. 神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか。

はい  いいえ

## 2. 住居

## 2-1. 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。（気をつけること等）

オリエンテーション期間はC. W. Chuに、開講中はMorningside Collegeに滞在しました。Morningsideではほぼ毎日清掃スタッフが来て清潔が保たれています。ゴミ収集所の設備が整っているらしくゴミの分別の必要がないので面倒ではありません。

・部屋について

1人あたり3,4畳ほどの二人部屋です。S. H. Ho CollegeやCW Chu Collegeも見学しましたが、どの寮も同じような部屋割りでした。ベッド・クローゼット・学習机は作り付けです。ベッドはマットレスのみ備え付けられているので、シーツ・掛け布団・枕は各自購入する必要があります。2駅離れた沙田にあるイケアで家具・寝具を揃える学生が多いようです。壁は分厚いですが、廊下越しに音が聴こえてくる場合があります。

各部屋にはエアコンが1台ずつ取り付けられており、使用量に応じてプリペイド式で徴収されます。Morningsideではオクトパスカードを使って事前にグラウンドフロアの機械で料金を支払う必要があります。注意点として、部屋のスイッチ自体をオフにしないと通電したままの状態になることです。リモコンでエアコンを切ったつもりでも引き続き電気を使用している扱いになります。

不慮の事故で家具が壊れた場合は、無料でオフィスに交換を申し出ることができます。ただし中には罰金が科せられる場合があります。ある日、部屋に鍵を忘れて出かけた際に、ルームメイトが鍵を閉めて旅行に行ってしまったことがありました。オフィスに鍵を開けてもらいましたが、500円ほどの罰金を払った記憶があります。気をつけてください。

・キッチン設備について

共用のキッチンにはIH式のコンロおよびシンクが2つずつに常時稼働の給湯器、加えてオープン付き電子レンジと電気式の蒸し器があります。冷蔵庫も各階に数台ずつ備え付けられています。もっとも、Morningside 以外は多少異なると思いますが。

・シャワールームについて

お風呂はシャワーのみです。トイレと併設のシャワールームは各階に7つほどあり、お湯が出なかったり混みあって使えなかったりということはありませんでした。こちらも毎日スタッフがきれいにしてきています。

・学内のその他の設備について

学内には Fusion というスーパーマーケットがあります。平日は夜10時まで空いています。HSBCの支店・ATMや床屋もあるので、その気になれば学内から出ずに過ごせるかもしれません。ただし床屋はカットのデザインに関する評判があまり良くないようです。

図書館の設備も充実しており、テスト期間になると延長してオープンします。とはいえ、私の周りでは寮内のカフェで勉強する学生も多くいました。

### 3. 生活について

#### 3-1. 保険について

どのような種類の保険に加入したかを教えてください。

東京海上日動の学研災付帯海外留学保険に加入しました。

また、現地で加入した保険があれば、ご記入ください。

なし。

#### 3-2. PC（パソコン）について

PCの保有の状況： 日本から持参した  現地で購入した  保有しなかった

住居内のインターネットへの接続の可否： 接続できた  接続できなかった

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。  
無料の学内ネットワークを主に使っていました。Morningsideには各部屋に有線LAN用のポートもあります。

大学でのPCの使用の可否： 使用できた  使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や日本語環境等について記入してください。

授業でMATLABを扱うため Ester Kee Building 9FのPCを利用していました。また、学内の各図書館にも書籍検索用のPCが配備されています。どちらも英語のみで、日本語環境はありません。

### 3-3. 医療について

留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。

通いませんでした。学内に無料で診てもらえる病院があります。インフルエンザの予防接種も受けられますが、事前に申し込みが必要です。ワクチンが品切れになることもあるそうなので早めに予約をしておくとうよいと思います。

健康管理あるいは衛生面について特に注意すべきこと。

水道水は一般的には安全といわれていますが、屋台などで提供されている食べ物には注意が必要です。はじめの1か月間は現地の食事、特に辛いものを食べてお腹を下すこともありました。

### 3-4. 銀行口座について

留学先でお金を引き出せるように、どのように準備・手続きしましたか。

（現地で口座開設、キャッシュパスポート利用等）

VISA の他に、キャッシングの手段としてマネパカード(キャッシング可能なプリペイドカード)を用意していきました。オンラインで銀行口座からカードにチャージ・両替した後、現地の ATM 等で現金を引き出せます。ただし ATM 手数料として 20HKD (約 300 円) かかります。カード会社によっては ATM 手数料が無料になる場所もあるようなので調べてもよいと思います。

多くの場所で VISA も対応していますが、香港ではオクトパスカードというプリペイド式の交通系 IC カードでの決済が一般的です。普段の生活では ATM で引き出した現金を駅でオクトパスにチャージして使っていました。

### 3-5. 異文化体験について

留学先の文化・社会（習慣の違い等）について記入してください。

欧米と比較すると日本に近い文化を持った都市です。海外だと思って渡航すると、想像以上に日本的であることに驚かされるかもしれません。

多くの香港人が日本に対して好感を抱いているように感じられましたが、一方で特に若者たちは、日本の社会的課題である、グローバル化の遅れや長時間労働を冷静かつ客観的に観察している部分も見受けられました。

香港人はせっかちでお金にうるさいとよくいわれますが、個人的には関西人とそう変わらないように思います。女性を敬う文化を強く感じました。

大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトをもちましたか。

CUHK の先生の紹介で、現地の日本語学校に何度かお邪魔しました。他にも、趣味のカメラをきっかけに街で知り合って仲良くなった友人もいます。同年代の香港の人々はアニメやゲーム等で日本文化に理解があることも多いため、話のきっかけには困らないと思います。

課外活動（ボランティア、インターンシップ、アルバイト等）をしましたか。

バーベキューや旧正月のパーティーなど、寮のイベントを手伝いました。英語力に不安があったので積極的な参加を見送りましたが、そういった活動を通してスキルが身につくということもあると思います。とはいえ留学生なのでできることは限られます。

留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。（安全性、外国人への態度等）

近年の私服警官の働きもあり、海外としては非常に治安が良いです。ただし日本とは違うということは留意しておくべきかと思います。学内の話ですが、教室に置き忘れたスマホが戻ってきたこともありましたが、基本的には皆、外国人の私にも親切に対応してくれましたが、そもそも「現地人」「外国人」という区別があまりない都市であるようにも思えます。英語の通じないコミュニティ・店舗も多々ありますが、「これください」等の多少の広東語が扱えれば現地の人々に溶け込めます。

### 3-6. 留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、教えてください。

留学期間中の就職活動を行いました。11月に米国で開催されたボストンキャリアフォーラムおよび、12～3月の間に複数回日本に一時帰国して面談・面接を受けました。以下、私が就職活動を行った年はまだ通年採用が解禁されていなかったため、多少異なる点もあることに注意してください。

#### ・ボストンキャリアフォーラムについて

結論からいうと、ボストンキャリアフォーラムへの参加は必須でないと思えます。というのも、3年生の11月に参加するとなると、(経団連のルール如何ではありますが)内々定を出せない企業からのインターンシップの紹介程度で終わってしまうことも多々あるためです。もちろん、一足早く面接を経験することや、そこで出会う学生から受ける刺激は大きなメリットです。ただし参加を実りある機会にするためには、事前の入念な準備(BCFで内々定を出す企業か否か、4年生と渡り合えるレベルの自己分析や志望動機 etc.)が必要です。あるいは帰国後、4年生になってから夏の東京・大阪キャリアフォーラムや秋のBCFに参加する方法もあります。留学中の参加は手放して薦められるものではありませんが、結果を出そうとする意志があれば必ず得るものはあります。

#### ・日本への一時帰国について

面接のため、冬以降複数回、帰国しました。地理的に近い(香港 - 東京 片道4時間程度)ので一時帰国も可能です。

ただ、もちろん業界にもよるのですが、焦って本帰国前に面接を受ける必要は必ずしもないと思えます。例として帰国後夏以降のキャリアフォーラムや留学生向け採用に臨むという方法もあります。

ビデオ面接に対応してくれる企業も増えてきてはいますが、選考が進むと日本での対面面接を求められることがあります。留学中に多くの費用や時間・労力を費やすのか、より確実な就活スケジュールを組むことを優先するのかの判断が必要です。

## 4. 経費について

### 4-1. 留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)

航空運賃：50万円 + ボストンキャリアフォーラム渡航費 16万円

住居費(月額×留学月数)：18万円

食費(月額×留学月数)：22万円 + 寮の食事8万円

保険料：8万円

その他：10万円 + ボストンキャリアフォーラム滞在費 10万円

計： 142万円(留学期間全体の費用)

### 4-2. 奨学金を受給していた場合、奨学金についてご記入ください。

(財団等名)	寺浦さよ子記念奨学金,	100,000円/月
その他(渡航費等の支給)	450,000円	

## 5. アドバイス及び感想

5-1. 現地で参考となった留学先国の情報（出版物、ホームページ）を記入してください。

香港ライフファイル（ブログ）

<http://hongkonglifefile.com/>

香港を知るための60章（吉川雅之・倉田徹 編）

5-2. 日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。

生活に必要なものは現地でほぼ揃うので、特に必要ありません。強いて言えば携帯電話用のSIMカードでしょうか。自分の携帯が現地で使用可能か不安な人、あるいは設定に自信がない場合は事前に日本で購入することもできます。（Amazon.co.jp等で販売されています）

私の滞在したMorningsideでは、数か月に一度のFormal Dinner用にスーツまたはフォーマル系のジャケットが必要でした。食事つきの寮に滞在する場合は持っていくとよいでしょう。

また、留学中に就職活動をするのであれば就活関連の資料（業界地図・履歴書等）があると便利です。ボストンキャリアフォーラムに限っていえばウェブでダウンロードできる共通フォームがありますが、企業によっては日本と同じ様式の履歴書が必要になる場合があります。

5-3. 留学することによって得られたことについて記入してください。

（語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等）

※ 語学力については、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。

留学前：(TOEFL iBT) 77点 → 帰国後 受験予定

5-4. 振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。

マネパカードを日本に置き忘れたため2週間ほど手持ちの現金のみで過ごしたこと。9月に帰国予定があったのでその際にカードを持ち帰りました。

5-5. 留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。

渡航前・渡航中ともに十分なサポートが受けられました。不慣れな海外生活の中、たいへんお世話になりました。月次報告書のアナウンスも適切でした。



5-6. 本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。

薦めます。1年半の準備期間を経てこれまでとは違う環境に身を置くことは、今後アカデミックな道を進むにしても実社会に出るにあたって、自信のキャリアにプラスにすることができます。

特に、意欲はあっても事情があって留学をためらっている人には、この機会にもう一度考え直してほしいと思います。現在は各種奨学金制度も充実していますし、企業の留学に対する理解も深まってきているように感じます。多くの企業が通年採用に移行しようとしていることも追い風です。

かつては留学経験がアピールポイントになった時期もありましたが、もはや、留学経験があることないしは英語を使いこなすスキルは、社会から当たり前求められる時代なのではないかと思います。社会のグローバル化が不可逆に進行する中で、日本人だけでなく世界の人々の考えを理解する素養は今後より一層、重要視されるのではないのでしょうか。この交換留学制度の1年半、それだけで終わるのではなく、今後のキャリアにもつなげるような気持ちで参加を考えてほしいと思います。

5-7. 留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。

（5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価）

- ・留学先大学の授業の「質」（内容、レベル等）に満足しましたか： 5
- ・留学先大学の学生サービスに満足しましたか： 3
- ・留学先の住み心地（安全性等）に満足しましたか： 5
- ・住居の「質」（広さ、料金等）に満足しましたか： 5
- ・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか： 4
- ・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか： 5
- ・留学全体の総合的な評価： 5

5-8. その他 自由に記入してください。

思い返せば、KIBERプログラムへの参加は偶然の出会いがきっかけでした。友人の誘いで経営学入門演習の授業を聴講し、そこから途中参加し始めたのが最初です。その後KIBERプログラムに進んだ際にも、英語が堪能な先輩方やたいへんな努力家の友人たちに囲まれて、私はいつも「留学なんて果たしてできるのだろうか」と不安を抱きながら授業を受けていたことを覚えています。ただ生来の負けん気からかプログラムを履修し続け、気づけば交換留学先を決定する時期になっていました。もちろん、英語スキルの養成にあたって、KIBERの数々のカリキュラムにたいへんお世話になったことは言うまでもありません。

経営学入門演習の聴講を快く受け入れてくださったこと、最終的に留学するかどうか決断を迷っていた私の背中を押してくださったこと、至らない私を留学中も継続してサポートしてくださったこと…どれも感謝してもしきれません。良い経験ができました。

## 6. 留学経験の共有について

あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書に添付して送ってください。

(デジタル画像をお願いします。)

6-1. 神戸大学では所属部局教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか。（あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。）

\*担当部署（所属部局又は国際交流課）が本報告書の原本を保管します。あなたが閲覧資料とすることに同意しない場合であっても、あなたの状況等を把握するために及び本プログラムを改善するために、学内の関係部署に転送することがあります。

はい

いいえ

6-2. あなたの本報告書の一部を引用して、本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい  いいえ

6-3. もし写真を提出する場合、あなたの写真を報告書とともに閲覧資料にすることに同意しますか。

はい  いいえ

6-4. もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか。

はい  いいえ

6-5. 国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。（留学体験を発表するなど）

\*ご協力いただける場合、後日、留学生センター教員よりあなたに連絡することがあります。

はい  いいえ

---

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料となります。

本報告書の提出先は以下のとおりです。**原則として e-mail で提出してください。**もし、e-mail を使用できない場合は、郵送又はファックスで提出願います。

経営学研究科学部・大学院教務係 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1

[bkyomu@b.kobe-u.ac.jp](mailto:bkyomu@b.kobe-u.ac.jp)